

ヨシュア
1章1～9節

この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。(8)

兵士は、最悪の状況が起こることに備えて訓練を受けます。そして、命令が出たときは、恐れずに訓練を受けたそのまま作戦を行います。神様は、私たちを靈的兵士として呼ばれました。靈的兵士は、どんな訓練を受けなければならないのでしょうか。

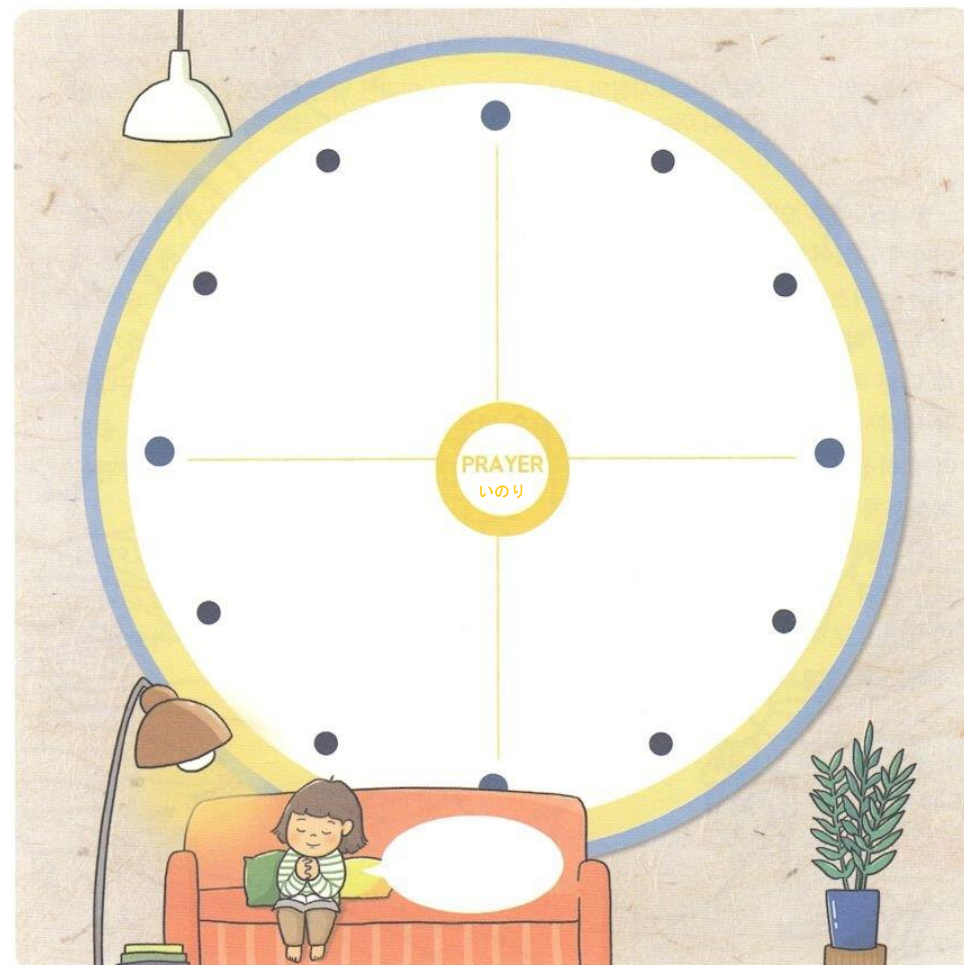
それは、祈りの訓練です。多くの人は、苦しいことが起こったり、心配することができると、そのとき、はじめて祈り始めます。しかし、戦争が起こった後に訓練を始めるならば、死を避けることができないでしょう。同じように、サタンの攻撃が始まった後、そのときから訓練を受けようとするなら、失敗するしかありません。それゆえ、普段の祈りの訓練が重要です。祈りのいちばん最初は、靈的事実を信じることです。神様が私たちを神様のかたちとして造ってください、いのちの息を吹き込んで、いきものとなるようにしてくださいました。そして、みことばを与えて力を受けるようにしてくださいました。

今日もすべての現場で、祈りの奥義を知って、着実に訓練を続けるレムナントになりましょう。私だけでなく、まわりの友だちも生かす力を受けるでしょう。



書いて
みよう

きょう 今日、すべてのことを、かみさま 神様にまかせることから
れんしゅう 練習してみましょう。どんなことも、なんでもかまいません。
れいてきたたか 靈的戦いをする訓練をはじめましょう。



きょうの でんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

19

かようび

先にもあとにもない祝福で デザインしよう

ヨシュア 10章 14節

主が人の声を聞き入れたこのような日は、先にもあとにもなかった。主がイスラエルのために戦ったからである。

出エジプトした後、長い間、荒野で過ごしたイスラエルが、いよいよ約束の地カナンに入っていくことになりました。カナンは、7部族31人の王が統治していた土地でした。そこに住んでいた人々は、イスラエルのうわさを聞いて、恐怖におそわれて、ふるえおののいていました。そのとき、いろいろな部族の一つであるギブオン族が、こっそりと降参をしたので。降参したギブオン族を罰するために、他の部族が戦争を起しました。ところが、そのとき、神様はひょうを降らせて、その軍隊を滅ぼして、夜になりそうになったときは太陽と月を止める空前絶後の答えで戦争に勝利させていただきました。イスラエルとヨシュアは、絶対不可能な状況で、絶対可能な答えを体験することになったのです。

神様はこのような空前絶後の答えをレムナントにも備えておられます。学校と家、すべての出会いの中で、神様の計画を見つめる契約の旅路の中にいましょう。私の一日を神様のみことばで編集して、神様のことを見つけて設計しましょう。そして、私の未来を祈りでデザインしましょう。次世代にこの答えをあかしする証人の座にいるようになるでしょう。



色をぬろう

大きくて強い国の前で、すべてをおろして、みことばに聞き従ったヨシュアとイスラエルのために、神様は直接戦ってくださいました。力の神様を黙想しながら、絵に色をぬりましょう。



うのみことば



うのいのり

神様、ありがとうございます。私の一日を神様のみことばで編集、設計、デザインする霊的兵士として、空前絶後の答えを見ることができるよう。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



うのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

I サムエル
1章 11節

そして誓願を立てて言った。「万軍の主よ。もし、あなたが、はしための悩みを顧みて、私を心に留め、このはしめを忘れず、このはしめに男の子を授けてくださいますなら、私はその子の一生を主におささげします。そして、その子の頭に、かみそりを当てません。」

私たちが暮らしている国は、どんな国でしょうか。私は国のためにどんな祈りをしていますか。ハンナとサムエルが生きていたとき、イスラエルは周辺の強大国に侵略されて多くのことを奪われた弱い国でした。何が問題だったのでしょうか。

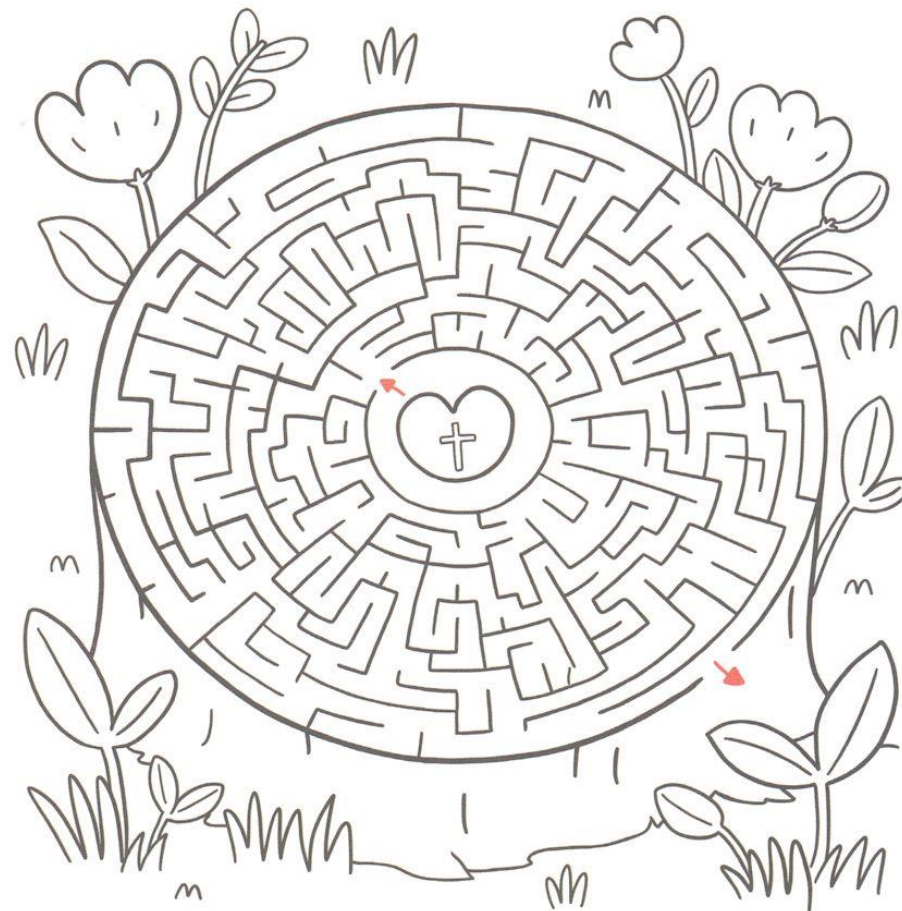
それは、神様の契約が消えたからです。ハンナは息子がいなかったもので、悲しんでいたのですが、ハンナは時代に向けた神様の願いを悟るようになりました。そこで、契約を回復して、国を治めるナジル人をくださいと祈り始めました。それによってサムエルが生まれ、そのことは、イスラエルに戦争が終わり、ダビデという次世代が立てられる答えにつながりました。

レムナントは、どんな祈りをささげるべきでしょうか。福音を回復した祈りをささげるとき、ひとり、ひとつの家庭が答えを受けるのを越えて、国が生かされる答えを受けられるようになります。私たちの国にわざわいが崩れて、まことの福音が回復するように祈りましょう。次世代が生かされて、未来を生かす答えが始まるでしょう。



めいろ

私たちは神様がこの時代のために備えられたレムナントです。めいろを通して、絵に自由に色をぬって、私のアイデンティティを深く考えましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人じゅんび
準備する資料

士師ギデオンと300人の勇士たち

士師 7章1節

それで、エルパアル、すなわちギデオンと、彼といっしょにいた民はみな、朝早くハロデの泉のそばに陣を敷いた。ミデヤン人の陣営は、彼の北に当たり、モレの山沿いの谷にあった。

イスラエルの民が契約を忘れていたとき、ミデヤンという国が絶えずイスラエルを攻撃して来ました。士師が国を治めていたとき、ギデオンは5人目の士師でした。彼はイスラエルを困らせたミデヤンに敵対して、パアルとアシェラの祭壇を壊した人です。ギデオンがミデヤンとの戦争を準備したとき、神様は最も弱い人300人をたてて戦争を準備するようと言われました。そして、ギデオンが神様に聞き従ったとき、完全な勝利を得るようにしてくださいました。

神様がなさる戦争に必要な人は、力が強い人ではありません。いくら小さくて幼くても、神様はレムナントの心を見て、祈りに答えてくださいます。私たちには、ミデヤンのように私たちを攻撃して倒そうとすることが多いでしょう。そのときには、いつも神様のみことばで編集して、現場の残りの者、巡礼者、征服者として勝利するように祈りましょう。



なやんで
います

今月の悩みはなんですか。



パク・ウヨン牧師夫人
わたし、なやんでいます

霊的奥義を見るには
どうしたらよいのですか

いっしょに霊的奥義はなにかを、先に調べてみましょう。

霊的世界は、聖書にだけ正確に記録されています。まず、生きておられる神様と、神様がおられる天国があります。そこには神様に賛美をささげて、神様のみこころを成し遂げる御使いがいます（詩103:20-22）。また霊的世界は、地にあります。目に見えないのですが、神様に敵対して天から追い出され、墮落した御使いの長だった悪魔（サタン）と悪霊（黙示12:7,9）そして、彼らが行く地獄があります。（マタイ25:41）

それなら、どうすれば、この世界を見る目を持てるのでしょうか。とても簡単です。神様のみことばを信じれば良いのです。神様のみことばを信じるには、聖書を喜んで読んで、黙想して、神様のみことばを約束として握って祈れば良いのです。するとある日、神様の恵みで霊的世界があることを、心より信じるができるようになります。そのとき、信仰の目で霊的世界を見ることができるようになります。ダビデもこの目が開かれて神様の奇しいことを見ることができるようにと祈りました（詩119:18）。

私もダビデのようにこの目が開かれるように願って祈っています。いっしょに祈りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私はギデオンと300人の勇士のように弱いですが、神様がともにいてくださることを感謝します。世界を生かす残りの者、巡礼者、征服者として用いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

22

レムナントの現住所

きんようび

I サムエル 3章 19節

サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のことばを一つも地に落とされなかった。

息子がいなくて悲しんでいたハンナが、神様に祈りました。国と時代のために、神様のみことばを守って行う子どもが必要だという祈りをしました。そして、本当にサムエルが生まれると、祈ったとおりサムエルを神殿に送りました。サムエルは、後にイスラエルにあった数多くの偶像を壊して、ミツパで悔い改め運動を起こし、イスラエルにまことの平和をもたらすようになりました。

レムナントは、現住所をいつも覚えましょう。私たちは、世の中に広がっている霊的わがやいを止めて、数多くのたましいを生かす祝福の座にいます。私たちが持つ福音は、ひとりだけでなく家庭と家系、国、時代の運命を変える、とても大きな祝福です。レムナントひとりが神様の御声を聞く礼拝の座を守るとき、この時代のミツパ運動の主人公になるでしょう。



みことばを
適用しよう

全世界に福音を伝えるために、私は神様の前で、どんな準備をしていますか。挑戦していることがあれば書いて、必要なことと、必要でないことを見つけてみましょう。



きんようのみことば



きんようのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



きんようのいのり

神様、ありがとうございます。私と現場、世の中のわがやいを止めて、人を生かすミツパ運動の主人公となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

23

いつも喜んでいなさい

どうび

I テサロニケ
5章 16節

いつも喜んでいなさい。

なにをしてもうまくできず、問題は解決されないのに、どのようにいつも喜んで
いることができるのでしょうか。すべてのことの中で、神様が願われることが
何かを分かれば良いのです。私の考えと計画でなく、神様の計画を見つければ、
心に感謝と喜びがあふれ出て、他の人を生かす証人として立ちます。

神様は、レムナントがすべてのことの中で、神のかたちを回復する、まことの
喜びを見つけることを願っておられます。ところが、サタンは、神の子どもが、
この祝福を悟れないように 24時邪魔します。そのとき、レムナントはだまされ
ずに、みことばを握って、24時祈りの中で信仰を守りましょう。すると、私の力
で解決できない霊的問題がいやされます。それだけでなく、目に見えない私の霊
と、たましい、心が生かされるようになります。レムナントは、一番最初に、私
の中に隠されている神のかたちを見つけて、神様のいのちの息を回復しましょう。
いつも喜ぶしかない答え中にいることを期待して祈りましょう。



どうのみことば



どうのいのり

神様、ありがとうございます。24時神様から与えられる答えの中で、いつも喜
んでいるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお
名前によってお祈りします。アーメン



絵を
みつけよう

神の国を望みとする私たちは、どんな問題も喜んで超えて行くことが
できます。隠れている絵をすべて見つけて、私に与えられた本来の
祝福を深く考えてみましょう。



どうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりよう
準備する資料